



集団生活を通して一人一人が健やかに成長できるように



清掃活動(みんなが気持ちよく過ごせるように)

グラウンドにそびえ立つ銀杏の木に芽吹いた若葉の緑がまぶしく目に映る季節となりました。

新年度が始まって1か月半が過ぎました。その間、全ての子供たちが気持ちよく学校生活を送れるように、学級づくりを中心にしながら教育活動を進めてきました。互いに認め合い、励まし合いながら、気持ちよく学校生活を送るには、どのようなことに心がけていけばよいのか話し合いを重ね、目指すべき指針となる学級目標が定まってきました。学校の教育目標は「じりつする子供の育成」です。子供たちも担任も「じりつ」に向けての取組が始まっていますが、大事なことは、学級目標を子供たち自身が目指すべき目標と捉え、日頃から意識して活動できるように支援することです。望ましい集団生活を送れるようにすることが、一人一人の子供の健やかな成長につながるものと考えます。

1年後、或いは学期の節目節目で学級目標に向けて取り組んだことを振り返り、一人一人が成長できた喜びや達成感を、担任と子供たち、保護者の皆様と共に喜び合えることを願っております。

学校生活に慣れつつある1年生

49名の1年生が入学して1か月半が過ぎました。登校して教室に入ったら、まず、最初に何をすればよいのか、朝の会はどのように進めていけばよいのか、給食の配膳の仕方など、どのようにしたらよいのかなど、日々、新しいことを学びながら学校生活に慣れつつあるようです。学校生活のリズムにも合わせることができるようになり、行動範囲も広がってきました。先日、大休憩の時間に1年生のほとんどが代わる代わる校長室を訪れ自己紹介をしてくれました。その様子を見ると、校長室の出入りの仕方や話し方等、自己紹介という学習活動を通して多くのことを学びながら順調に成長していると感じ、うれしく思います。



1年生おめでとう集会

4月25日、そのような1年生ともっと仲良くなることをねらいとして「1年生おめでとう集会」を行いました。集会委員会のゲームや企画委員会の学校のきまりについてのクイズなど、1年生はもちろんのこと、他の学年の子供たちも楽しい一時を過ごすことができました。集会のねらいに向けて取り組んだ練習の成果やアイデア、工夫など、集会活動を通して子供たちのよさを感じることができました。

自分の命を自分で守るために

4月24日(水)に交通安全教室を実施しました。当日は、入善警察署より3名の署員の方、黒東交通安全協会より7名の協会員の方が来校されました。体育館での開会式の後、1・2年生は町に出て横断歩道の渡り方や狭い道での1列歩行の現地指導を、3・4年生は自転車の安全な乗り方についての指導を受けました。子供たちは緊張しながらも自分の命を自分で守るために、真剣に取り組んでいました。

交通事故は、油断や不注意、交通ルールを守らないことから発生します。交差点での一旦停止の徹底、左右及び後方の安全確認、自転車乗車時のヘルメットの着用など、ご家庭でも子供たちの交通安全意識が高まるよう繰り返し声かけをお願いいたします。



交通安全教室